

韓国の観光戦略を学ぶことで見えてくるもの ～クリア・ソウルセミナーを水原市で開催～

ソウル事務所

クリアソウル事務所では、韓国に駐在している日本の地方公務員等を対象に、韓国駐在地方公務員等連絡協議会及びクリア・ソウルセミナー（以下「クリア・ソウルセミナー」と言う。）を実施しています。今年度第1回目となるセミナーを2012年6月8日（金）にソウル近郊の京畿道水原市で開催しましたので、その内容について報告します。

1. 協議会及びセミナーの目的・会員

クリア・ソウルセミナーは、韓国に駐在している日本の地方公務員等が、その駐在活動を効果的かつ円滑に遂行することができるように、また、韓国の地方自治をはじめ、日韓地域間国際交流、韓国の政治・経済・文化等について理解を深めることができるように、1994年から始まり、毎年3～4回開催しています。

セミナー会員は、今年度は42名（6月現在）で、うち今年赴任された方が全体の約5割を占めます。駐在期間が1年の方もいらっしゃり、入れ替わりが激しいのですが、中には公務で外に出る機会が少ない駐在者の方もおり、このセミナーは韓国を知る貴重な機会となっており、またその役割が非常に大きいセミナーと感じています。

2. テーマ・行先・内容

このセミナーの計画を立てる上でお世話になったのが韓国地方行政研修院（以下「研修院」という。）です。研修院が水原市にあり、また水原市には世界遺産である「水原華城」もあり、その観光戦略について知りたいという興味から、「観光」をテーマにセミナーを開催することになりました。

(1) 研修院訪問（説明：シン・スンニョ国際教育チーム長）

研修院は、地方核心リーダーを育成する世界最高の教育機関を目指し、1965年に開院されました。日本でいう自治大学校に近い機関ですが、日本に比べると、外国公務員に対する研修の受入れを重点推進課題の一つとし、より力を入れている印象を受けました。

また、施設はまだ綺麗なのですが、政府の政策により、来年には現在の水原から約184km南に位置する全羅北道完州（ワンジュ）郡に移転するとのことでした。

(2) 講義「韓国の創造的な文化観光コンテンツの発掘戦略」

（講師：ユン・ビョング 慶熙サイバー大学観光レジャー経営学科教授）

韓国では、週休2日制の導入や健康志向・ロハスなどのトレンドの変化もあり、

旅行者が体験型・滞在型・家族中心型形態に変わってきており、それに伴い旅行商品も変化しているとのことでした。現在ある歴史遺跡・衣食住・映画／テレビドラマ・音楽・美術・舞踊等の公演・民族遊び／民族劇・祭りなどを、「文化観光※コンテンツ」として活用・発掘していくことで、もっと観光客を呼び込むことができる、といった話は、日本の観光戦略を考える上でも大きなヒントになるものでした。

※「文化観光」とは…文化の全領域において観光と連携し、資源化（商品化）することのできる文化芸術資源を元にするすべての観光のこと。



セミナーの様子

(3) 講義「観光開発の成功事例」

(講師：キム・ジンムン 京畿道庁経済投資室 USKR 造成チーム長)

2016 年に韓国でグランドオープンする予定のユニバーサルスタジオコリアリゾートについて、現在その投資誘致・開発事業に携わっておられる実務担当者からお話を伺うことができました。事業概要はもちろんのこと、経緯や進行状況、今後の計画まで、担当者だからこそわかる内容について、詳細かつ率直にお話を伺うことができました。また、担当者としての苦労話も聞くことができ、貴重な機会となりました。

(4) 水原文化財団訪問、世界文化遺産「水原華城」視察

場所を移して、水原文化財団に訪問しました。この水原文化財団は 2012 年 2 月 1 日に世界文化遺産水原華城の観光事業だけでなく、文化芸術の創作、普及活動支援事業、水原を代表する祭りを開催し、未来志向の水原学研究活動など、地域の文化芸術の振興を図るための様々な事業を推進するために創立されました。

私たちはまず、水原の観光 PR 映像を見て、そのあとに観光活性化施策について、スライドを用いて説明していただきました。①インフラ構築②活性化施策（ツアーや体験、観覧時間の延長など）③広報促進④祝祭／観光商品と大きく 4 つに分けて事業を推進する計画となっており、今後の成果が気になるところです。



水原文化財団にて



水原華城視察

3. 今後に向けて

今回セミナーに参加された方は全員で23名でした。うち約6割の方が初めてこのセミナーに参加され、アンケート結果では、みなさんが「横のつながりをもつことができた」ことが大変よかった、との感想をいただきました。

第1回は、初めてのこともあり、まずは「韓国、そしてお互いを知ること」を中心に、講義＋視察＋意見交換会と言った形で進めましたが、次回からは、参加者の要望も取り入れながら、双方向的に得るものが増えるよう、もう一步踏み込んだセミナーにしていければと考えております。



韓國駐在日本地方公務員訪院研修
2012. 6. 8 LOGODI & CLAIR

(長谷所長補佐 富山県派遣)